



2024年度名桜大学 教員養成講座だより

2025年3月10日(月)
沖縄県名護市為又1220-1
名桜大学教員養成支援センター
発行責任者
センター長 高安美智子

2024年度教員採用試験 34人合格! (名桜生9人、一般25人)

合格者の皆様、おめでとうございます!

2024年度実施の教員候補者選考試験の最終合格者は34人で、前年度より3人増えました。そのうち、一般受講者は25人で、名桜大学生は9人が合格し、過去最高の実績となりました。教員採用試験の倍率は年々低下しており、今年度の全国平均は2.9倍という報告がありました。沖縄県は、すべての校種で昨年度より採用者数が減少し、小学校の2.6倍以外は依然高い倍率を維持しており、中学校4.5倍、高校は12倍と報告されています。中でも養護教諭の倍率は、31.8倍で全国平均を大きく上回り最高倍率でしたが、本学のスポーツ健康学科の過卒生2人が合格を果たしました。また、一般受講者では、高校地理歴史は17.8倍、高校国語は7.3倍の難関を見事突破しました。教員採用試験はまだ難関であり、合格を勝ち取るには並々ならぬ努力が必要です。34人の快挙はこのように数年勉強を続けた結果なのです。また、名桜大学現役生の合格者も増えつつありますが、とりわけ沖縄県出身の現役合格者は、養護教諭以外では初めての合格となります。本当におめでとうございます。

本学の教職員はじめ、教員養成講座担当教員のご指導と本人の弛まぬ努力により大きな望みを叶えることができました。これまでご指導、ご支援をいただきました多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

表1 2024年度教員採用試験実施状況 合格者数及び合格率(%)

合格率	名桜大生	一般受講者	合格者の教科
1次試験	13人(34.2%*)	27人(48.1%*)	学生：英語5、養護2、保健体育6 一般：英語1、養護3、保健体育1、地歴高1、 国語高1・中2、数学4、小学校13、家庭科1
2次試験	9人(69.2%**)	25人(92.6%**)	学生：英語5、養護2、保健体育2 一般：英語1、養護2、保健体育1、地歴1、国 語高1・中2、数学4、小学校12、家庭科1

*名桜生の合格率は、講座受講者以外も含め受験した学生に対する1次合格者の割合を表しています。

一般受講者は、2次試験対策講座からの参加も、一次合格者数に含めています。

**2次試験合格率=合格者数/2次試験受験者数×100

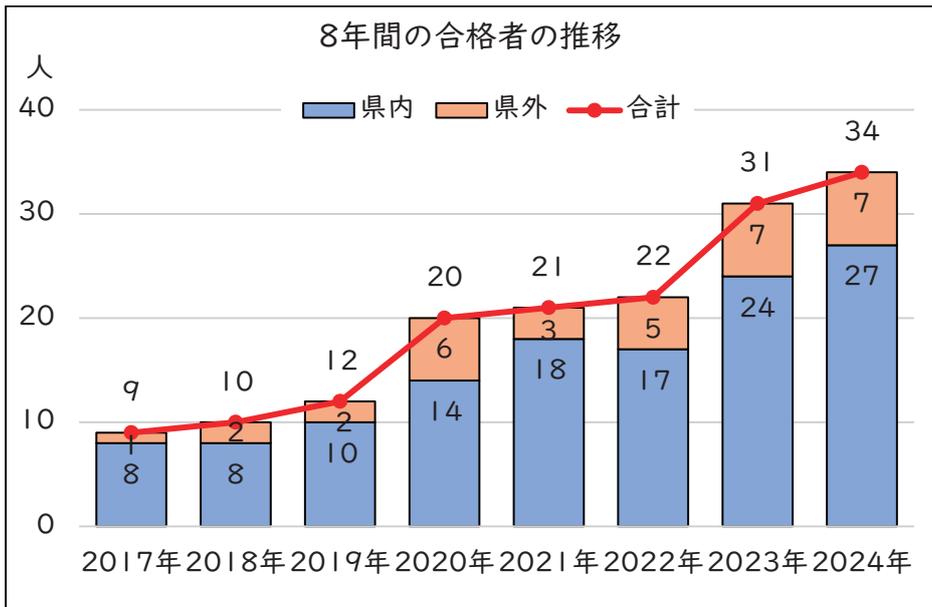
表2 教員採用試験合格者数の8年間の推移・合計

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
第1次 試験 合格者	名桜生	1	5	10	8+1	10	9	11	12+2(1)	66(1)
	一般	10	10	7(5)	11(5)	10(10)	5(15)	13(14)	11(16)	77(65)
	合計	11	15	17(5)	19+1(5)	20(10)	14(15)	24(14)	23(17)	143(66)
最終 合格者	名桜生	1	2	3	7	4	5	7	9	38
	一般	8	8	9	13	17	17	24	25	121
	合計	9	10	12	20	21	22	31	34	159
北部出身合格者		8	9	10	14	18	17	24	26	126

※ ()は2次対策講座からの参加者数(過去の1次対策講座受講者も含む)

2020年度の+は1人で2自治体に合格、2024年度の+2は1人で3自治体に合格

★名桜大学現役生・北部一般受験生の合格者の推移



2023年後期～2024年8月

○受講者実人数

学生・学年別 (計 62 名)	
2年	1
3年	17
4年	36
科目等履修生・他	8
一般 科目別人数 (計 55 名)	
小学校	28
特支小学部	3
国語	5
数学	3
英語	2
高校地歴	1
家庭	1
美術	1
保健体育	1
養護教諭	10
学生・一般合計	117

免許取得者の教員採用試験受験状況(科目等履修生含む)

●教員採用試験受験者数の推移



表 1 2024 年度 名桜大学卒業生及び現役生の沖縄県教員採用試験実施状況

2024 年度実施	小学校	中学校	高等学校	特支小	特支中・高	養護教諭	合計
名桜大学 志願者数	19	38	21	2	5	37	122
受験者数	17	36	20	2	5	34	114
1次合格者数	9	2	4	0	1	3	19
最終合格者数	5	2	情 1	0	1	2	11

表 2 名桜大学卒業生及び現役生の沖縄県教員採用試験合格者の推移

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
名桜大学 志願者数	153	154	139	138	133	121	116	122	1076
受験者数	145	146	134	137	126	117	92	114	1011
1次合格者数	15	12	17	11	15	15	16	19	120
最終合格者数	11	8	9	8	11	12	13	11	83

◎2024 年度沖縄県の教科別採用者数 (合格率) 小学校 266 (38.3%)、中学校英語 25(22.1%)

商業 2(8.7%)、情報 3(17.6%)、中学校保健体育 11(4.6%)、養護 5(3.1%)、特別体育 2 (5.6%)

※本学で取得できる商業、情報、保健体育、養護教諭の、本県の倍率は上記のように極めて高い状況にあります。

2024年度実施 教員養成講座報告書（2024年3月4日～8月22日）

1. 2024年度第1次試験対策講座

今年度は、全国的に試験日程が繰り上がり、本講座の日程も調整しながら進めてきました。今年度の前期日程は2024年3月4日から6月13日まで開講し、学生24人、一般23人、計47人が受講しました。

科目等の内訳は以下の通りです。

表1 前期講座受講者数

	受講者	教職+専門	教職教養のみ	専門教養のみ	備考		
学生	24	20	4	0	Web受講1を含む 中途辞退者も含む		
一般	23	1	4	18			
合計	47	21	8	18			
	受験教科名	英語	保健体育	養護教諭	小学校	国語	美術
学生	24	12	9	3	0	0	0
一般	23	2	0	5	13	2	1
合計	47	14	9	8	13	2	1

2. 2024年度実施教員候補者選考試験二次対策講座

公立学校教員候補者選考第1次試験実施が繰り上がり、各自治体の試験日が大きく異なり第2次試験対策講座を6月17日より開始しました。

表2 二次対策講座受講者数

	受講者	面接・模擬授業	論作文	英語指導	備考
学生	12	12	2	7	英語6、養護2、保健体育4
一般	14	13	0	1	小学校7、小学特支1、英語1、養護4 保健体育1
合計	26	25	2	8	沖縄県内受験17、県外受験5、両方4

●二次対策講座開講式のアンケート結果

1. 今日の開講式を受講して今後の2次試験の参考にしたいと思ったことを書いてください。（複数）

- オリエンテーションで目指すべき教師像や求められる資質・能力について確認できたことで、面接の返答を考えるときのヒントになった。
- 面接での大事なポイントを知る事ができた。1回目の面接で緊張して、言葉が出なくて散々でした。しかし、今後やるべき事が具体的に解ったので勇気を出して良かったです。他のメンバーの面接を見ることができてとても勉強になりました。
- 自己分析
- 予想される質問内容を考える。
- 面接ノートを作成し、質問内容を整理する。
- 何度も何度も練習し、準備する。施策をとにかく読み込む。面接ノートを作成し、自分&他人の内容を書き込む。
- 資料の時事問題を押さえて対策する。話す練習、録音することを実践したい。
- 他の人の面接を見て学び、参考にしたい。頑張る姿勢を持ち続けたい。
- 過去の質問や予想される質問にどの様に答えようか参考にします。
- 面接ノートをつくって何回も面接の練習を行う。教育に関して自分の考えを持ってしっかり伝えられるようにしたい。
- 面接で試験官が見ている点。
- いろんな校種の面接が聞けて参考にしたいと思いました。

2.2 次対策講座を受講するにあたって、今日から始めようと思ったことを教えてください。

- 面接ノートをつくること。
- 自己分析
- 調書に書く内容
- 質問に対する答えを考える。
- 教育法規を覚える。やってきたことをもっともっと前面にアピールできるように言葉をまとめる。
- 面接で予想される問題の返答を自分の経験を踏まえて考える。
- 質問に対して分かりやすく話す練習をする。
- 簡潔にまとめる。
- 伝えたいことを言葉にしてまとめる練習。日頃から模擬授業を意識して子ども達と接すること。

3. これから有言実行で頑張るために、今の決意の言葉を書いてください。

- 絶対に合格して来年の4月には初任研を必ずします。
- 自分の課題を理解して前向きに頑張る。
- 絶対合格する！
- 面接ノートの作成を頑張る。
- 実際の現場でも常に自分の考えを整理する習慣を付ける。
- 必ず復習を行い、準備した状態で臨む。
- 沖縄の子ども達の為に自分の原点を忘れない。
- 事前準備、面接実践、振り返りのサイクルを回す。
- 将来のために頑張る。
- 二次試験も突破できるように頑張る。
- 自分を見つめ直す良い機会になるので、しっかり練習し対策を立てる。
- 合格できるように今の自分、現実と向き合いたいと思います。



6月6日(木)の模擬面接の様子

4. 開講式の感想や2次対策講座への要望・意見等がありましたらお書きください。

- 校種や専攻同じ人が多いと嬉しいです。
- 北部教員養成講座に通ったことで自分のモチベーションも上がっていたので2次対策も全力で頑張ります。
- 宜しくお願いします。
- 毎回ありがとうございます。
- 一次試験が終わると少し気が抜けていたが、改めて気を引き締め直す良い機会になりました。
- とても親身にふり返りもして頂き、ありがたかったです。頑張ります。
- 英語の面接もして欲しいです。
- 面接も後半は同校種でまとめて班編成をお願いしたいです。
ご検討お願いします。



名桜生のための教員養成講座「入門編」①



1. 講座の趣旨・目的

2024年10月11日(金)に「名桜生のための教員養成講座 入門編」を開講しました。

本講座は、教員養成講座に初めて参加する学生を対象として 2025(令和7)年度実施の教員採用試験対策の講座開講の前に2回実施しました。今回は、昨年度より多い32名の申込みがありました。そのうちの25名が参加しました。

第1回は10月11日(金)に高安教員養成支援センター長より、教員志望動機、教員の使命、各自治体の求める教員像、採用試験の出題内容、教育法規や各自治体の教育施策などの検索方法を説明し、さらにそれらに関する問題集を紹介しました。また、講座受講後は計画的に繰り返し復習をして学習内容の定着に努めた受講者の体験談などを参考に自分に合った勉強の仕方等について、紹介しました。

2025年度実施の教採に向けての本格的な教員養成講座は来週の10月25日(金)が開講式となっています。そこで、今年度合格者の体験講話を予定しています。例年、特に現役生には今後の受験対策に多くの示唆を与えています。是非参加して欲しいと思います。「受講仲間が合格への栄養剤！」を信じて共に頑張りましょう！

講座申込者

学年	申込者	受講者
1年	5	5
2年	18	16
3年	9	4
合計	32	25

教科	人数
高校 情報	1
高校 地理歴史	1
中・高英語	8
中・高保健体育	6
養護教諭	9
合計	25

受験自治体	人数
沖縄県	4
沖縄県との併願	4
沖縄県以外	12
未定	5
合計	25

【聞き流し動画】学習指導要領 体育科の目標のポ
 視聴回数: 1200回以上・2年前
 YouTube・岡山県総合教育センター-YouT
 視聴回数: 1200回以上・2年前
 YouTube・NITS独立行政法人教職員支援機構
 視聴回数: 1.8万回以上・5年前
 高等学校学習指導要領 総則: 新学習指導要領
 新学習指導要領 No.32: 高等学校学習
 指導要領 総則: 新学習指導要領
 新学習指導要領の趣旨を踏
 ンター-YouTubeチャンネル
 YouTube・大正大学 教授 浦崎太郎 チャンネル
 視聴回数: 7270回以上・3年前
 【所要4分】新学習指導要領のポイント「小
 新学習指導要領は、過期、何が書かれ
 かし、文脈さえ分かればスッと入っ
 YouTube・エスタのYouTube保健室
 4270人以上のフォロワー・5か月前
 小・中学校 学習指導要領
 【YouTube保健室】養護教諭 教員採用試験！小学校
 域！（3）これで小学校編は最後だよ！エスタのYou

目標達成に向けて勉強の計画と決意を明確にする「有言実行！」
 教員養成講座を活用する！仲間が合格への栄養剤！
 教職教養は採用試験対策でしっかり 教員養成支援センターを活用しよう！
 学習することが求められています。

当日の説明用 PPT（学習指導要領解説動画・問題集の紹介）



写真 開講式の様子 2024.10.11

ワークシートより一部紹介します。
何時頃から教員に成ろうと思ったか、その志望理由について
<p>○小・中学校の頃から将来の夢の選択肢の一つであったが、本格的に考え始めたのは高校生のころ。志望動機は、日常の大半を「学校」という場で過ごす中で、「教師」が受ける刺激は大きく、子供に一番近くで寄り添える職業に魅力を感じた</p> <p>○二年の担任の英語先生の指導がとても上手で目に見えて伸び、英検二級に合格させてくれました。私が教師になったらその先生のように生徒の英語力を成長させるようになりたいです。</p>
教師の使命とは
<p>○子供の成長を見守り導く。子供の可能性を最大限に広げる。勉強を教えるだけでなく、人間としてのあり方も伝える。</p> <p>○人との関わり方や社会で生きていくことなど、一人一人の児童生徒に何か大切なものを残すこと。</p>
教師に求められる資質能力
<p>○気づく力、伸ばす力、挑戦する力、つながる力、展開する力、観察力、社会性、臨機応変さやリーダーシップ、指導力</p> <p>○人間性、専門的な知識・技能や他人を思いやり行動する力、話す力、聞く力、信頼される力、コミュニケーション能力</p>
決意のことば
<p>絶対あきらめない！ 努力を惜しまない！ 採用試験の現役合格！</p> <p>今後の教員養成講座に可能な限り参加する！ 教員として地元に貢献できる人間になる！</p>
あなたにとって「幸せな人生」とは
<p>すべての人を愛することができる人生 人のためになること 仕事をする事</p> <p>自分の頑張りたいこと、したいことが、頑張りたいときにできること</p>
意見・感想・要望等
<p>○自分に対する危機感と先生方へのさらなる尊敬の念を抱く大変良い機会であったと思います。</p> <p>○やるべきことは山ほどある中で、どれだけ時間を費やして努力し続けるかが大切だと感じた。「なりたい」という強い気持ちを持ち続け、コツコツ対策に励みたい。</p> <p>○教師になるためには、中途半端な気持ちではいけないということがよくわかりました。勉強に関しては、徹底的にする必要があることが分かった。また、自分の都道府県の試験に関する情報を知らなかったので早く調べてみようと思った。</p> <p>○今まで知らなかった情報が多く知れてよかった。今日から教員採用試験に向けて頑張りたい。</p> <p>○どのような勉強法をすべきかについて知ることができたため計画的に学習していきたい。</p> <p>○今日の講座に参加して自分が受験したい自治体について調べきれいなと感じた。いつ試験があるのか。大学推薦があるのか。大学三年生で受験できるのか。細かい部分を調べます。教員養成支援センターを利用して対策を立てたり、準備をしていきたいと思った。講座に参加して、教職について調べる機会になった。</p> <p>○教員になるために今の自分が何をすべきかが分かった。</p> <p>○教員養成講座に初めて参加したのですが、危機感を感じることができました。また、何をすべきかがたくさん知ることができた。今から計画的に勉強していこうと思いました。</p> <p>○講座を受けるまで採用試験について全く分かっていなかったのに講座を受けて情報を得ることで努力する大切さを理解した。教師になりたいというモチベーションをどんどん上げて頑張りたい。</p> <p>○今日の講座を通して自分自身がどれだけ危機感をもって試験や自治体の勉強をしていかなければならないかを知ることができた。計画的に行動することが苦手なためそれを言い訳にせず目標を立てていきたい。</p> <p>○自分が受けたい自治体のことをまだまだ知らないと自覚することが出来たのでこれからホームページ等で確認していきたい。また、目標やなりたい自分を想像しながらそれをモチベーションに頑張っていきたい。</p> <p>○教員採用試験を受けるにあたって何をしたらいいのかわからなかったのが今日学んだことをすぐ実行しようと思います。</p> <p>○教師になりたいと強く感じました。自分は成績が低いという課題がありますが、必ず教師になります。</p> <p>○養護教諭になるという明確な目標を持っていたものの何に取り組めばいいかわからずいたのでこの講座に継続して参加し、自分の基礎力の向上につなげたい。過去問やホームページを見てこれから対策をしていきたい。</p> <p>○大学に入学して何度も自分は本当に教員になりたいのかと悩むことがあった。今回の講座に参加して改めて、教員になりたいと考えることができた。採用試験合格は、たくさんの努力が必要になるため一年生の今からできることを行い、積み重ねていく。</p>
報告 2024年10月15日(火)

名桜生のための教員養成講座「入門編」②



『教員養成講座(入門編)』は、将来教員になりたいと思っている学生。または、教職科目を取ってはいるものの、漠然と教員になれたらいいなど考える1～2年生のために毎年開講しています。もちろん、これから本格的に採用試験の勉強をするという3年次も是非参加して欲しいと思っています。

全国的に教員志望者が減り、採用試験の倍率も年々低下しています。国は働き方改革や教員採用試験の実施日の早期化、教職調整額の増額、各自治体では大学3年次受験の導入など教員確保に向け取り組んでいるところです。しかし、教員を養成する大学には、子どもたちの未来に向けて、これからの教育を担う教員の資質能力を向上させる手立て講じる努力が求められています。本教員養成講座では、教育活動の直接の担い手である教員に対する揺るぎない信頼を確立するための支援を重要視しています。そのため、本学の教員養成講座は、専属の担当者を配置し、教員をめざしている学生が一生の仕事として自信をもって挑戦できるよう年間を通して、低学年からのサポートをしているところです。

第2回は、新城敦教員養成講座担当教員より「教師の働き方とキャリア形成」をテーマに、教師のやりがいや魅力を自己の経験や教員採用対策講座の担当として教師を志す学生に伝えてもらいました。内容は、生徒の成長に大きく影響する教師の沢山のやりがいを例示したり、公務員としての教師の給与、ステイタス、将来の年金等、キャリア形成にかかわる内容に加え、臨時的任用と本務の違い、教員採用試験に向けた学習効果の法則等について詳しく説明を行っていました。

「教師のやりがい・魅力」

- ①子どもたちの変化や成長を間近で感じることができる。
- ②人間形成に深く関わることができる。
- ③子ども達と一緒に自分も成長できる。
- ④経済的に安定している。→地方公務員
- ⑤長期休暇が取りやすい。(ただし長期休業中)
- ⑥社会的ステイタスが高い。
- ⑦人間同士の触れ合い、魅力的な人に出逢える。



目標:教員採用試験に合格する!

「最後に」

- ・人生100年時代を迎え、「教師」という職業を一生の仕事するために乗り越えないといけない道が「採用試験」である。
- ・ブラックと言われた教員も「教員の働き方改革の推進」、「教員免許更新制の撤廃」、「部活動指導員の配置」、「※給特法の改正」等、時代は我々教師にプラスに向かっている。その為に、「今」何をなすべきか？
答えは一つ!
- ・研修に励み、自己研鑽を怠らず、安定的家庭生活のためにも精神的にも経済的にも「ゆとり」が大切!
- ・その為には、各自治体の「採用試験の合格」を目指す。
※給特法とは、公立の義務教育諸学校の教育職員の給与等に関する特別措置法。現在は残業手当4%



写真1 名桜大学 SAKURAUUM 5階「教員養成講座運営室」

※ 教科書・問題集などが多数あります。空きコマに是非活用してください。

2025 年度実施教員採用試験 1 次試験対策講座 報告書

2024 年 10 月 25 日（金）に、2025 年度(実施)教員採用試験 1 次試験対策講座の開講式を名桜大学学生会館大講義室 B で開催しました。開講式の参加者は、24 名でしたが、現在の受講申込者は 40 名となっています。

引き続き、今年度合格者の合格体験報告を聞きました。体験報告及びこれから頑張る受講者の決意を紹介します。

講座の趣旨及び目的

教員養成講座は、名桜生の現役合格を目指した学習の場です。さらに、北部出身受験者の教員採用試験対策を行うことにより合格者を輩出し、北部地区の教職を志す者の、北部地区管内における教員の人材確保及び定着を図り、児童生徒の学力向上に資することを目的としています。

講座実施日

教職・一般教養 週 2 回（毎週火・木曜日）

専門教養は月曜日・水曜日（教科別）

受講者数

教職・一般教養のみ（5 名：名桜生 4、一般 1）

専門教養のみ（14 名：名桜生 6、一般 8）

教職・一般・専門（21 名：名桜生 19、一般 2）

表 1 科目別受講者数（11 月 5 日現在）

	名桜生	一般	合計
小学校		1	1
中高英語	15	2	17
保健体育	4	0	4
養護教諭	10	3	13
中高国語		2	2
特支小学部		2	2
高校商業		1	1
合計	29	11	40

学問そのものと教育との間には断層がある。

教育という仕事は、無限に豊富な可能性をはらんだ素晴らしい創造的な仕事です。わからないことがあまりにも多く、分かっていることはあまり

にも少ないのです。(遠山啓)



写真 1 開講式の様子

合格体験報告会

◇10 回目の挑戦で見事合格！

・特別支援教育の免許を取得したので、その加点が大きかった。過去 5 年の過去問から、出題されている文言をチェックして、出題傾向を把握した。何度も何度も読み、付箋紙をはってどの教科をどのくらい読み込んだかが分かるように工夫した。

・算数は暗記ではなく基礎から確実に理解しないと点数が取れないと感じていたので、算数に一番時間をかけて勉強した。分からなかったら、講師の先生や同じ講座の仲間に納得のいくまで聞く。算数に関しては、今回の講座からオンラインで個人的に聞くことができたので、できるときは何回も予約をいれて復習した。その後は分かるまで一人で解く。そして、自分の解いたやり方を仲間に説明する。自然と模試や過去問の点数も安定してきた。日々の教材研究も試験勉強だと思って、授業づくりをおこなった。

・模擬授業では、子供たちがわくわくするような授業づくりを考えた
・模擬授業だけけど、ほんとに子どもたちに授業をするつもりで授業づくりをした。言語活動の場面設定をして、単元すべての計画をした。模擬授業は動画を撮って振り返りを行った。

・模擬面接では、最初は笑われて何度も勉強をして、いろいろわかるようになった。

・泣いたり笑ったりしながらメンタルを保って取り組んだ。

・4 月から新規採用で学級担任をするんだという強い気持ちで、4 月から採用試験の勉強はしないと決めて、採用されるよう頑張った。

◇講座を受講してよかったこと

・名桜の図書館で集中して勉強することができたこと

・教採対策に取り組む時間を確保できたこと

・自分以外の受験者がいる、と実感できたこと

・一人で取り組んでいたら得られなかった情報を収集できたこと

・同じ悩みや不安を共有する仲間がいたこと

・他の校種、教科の方の授業を見たり、交流があってよかった。

・仲間と一緒にお互いを励ましあいながら、共感しながらアドバイスを受けながら一緒に頑張った。

◇ 現役合格を果たした体験報告

◎ 講座に通い始めた頃は、わからないことばかりだったため、講座で解いたプリントを、テキストを読み意味を理解しながら復習をするということを何度も繰り返していました。一度解き直したプリントは、全問正解するまで取り組みました。また、学習指導要領からも問題が出るため、講座で配られた要点をまとめてくださっている緑色の冊子に、重要な文言だけ緑色のマーカーを引き赤シートで隠して覚えています。自治体によっては、教育振興基本計画や施策などの問題もですが、県の教育委員会のホームページから PDF をダウンロードし、目を通すようにしていました。これは、二次試験対策にもなるためしっかりまとめておくことをおすすめします。

専門科目(英語)は、毎日英語を聞く、読むということを意識して勉強していました。Youtube で自分が興味のあることを英語で聞いてみると苦にならず英語に触れられると思います。また、読むということに関しては、英語版朝日新聞のネット記事を毎日読むようにしていました。わからない単語があれば調べて復習することで単語力も伸ばすことができました。また、時間があれば英検に挑戦することもお勧めします。出願までに英検や TOEIC で点数をとると、専門科目の得点が加点されたり、専門科目の試験自体が免除されたりすることがあるため、自分の受ける自治体の要項を確認してぜひ受験を試してみたいと思います。

◇モチベーションの維持の仕方や気分転換の方法

モチベーションは絶対 1 発で受かってやるという気持ちを持って維持していました。大変な時期はありましたが、共に頑張っている友人や応援して下さる先生や家族がいたからこそ乗り越えられた部分も非常に大きいです。リフレッシュする日もしっかりと作って追い詰めないことも大切だと思います。また、自分自身が 1 年後どんなふうにいるのかを想像すると、より「教員になりたい」という気持ちが増すので、勉強に熱を入れることができました。

・学習の予定をたて(週予定→1日の予定)、学習内容や学習時間などをスタディプランナーに記録していた。



写真2 合格体験報告会の様子

◇ 1日の勉強スケジュール

・部活やバイトの後は疲れているので、だらだらしないように時間を決めて、最低 30 分はするようにしました。(勉強しない日を作らない)

・授業がない日は、10 時～18 時まで図書館やワーキングスペース、学校で勉強しました。

◇モチベーション維持の方法

・「定期的に本当に教員になりたいのか考えること」

採用試験を受けると決めて、試験に向けて突っ走るのは勉強方法さえ確立してしまえば難しくありません。目の前の目標を追うだけでなく、何のために勉強しているのかを見失わないことが大切だと思います。何度も自分自身に、本当に教員になりたいのかと問いかけました。いろんな道も検討した結果、教員になろうと思うことができたので、自分の選択に自信と責任をもって、勉強に取り組み続けることができました。

◇仲間とともに！

今年がはじめての受験でした。本講座には 2 年次の後期から申し込んでいました。大事なことは、なんといつてもチーム力！！ 講座メンバーは共にがんばる仲間です。

分からない問題があったとき、落ち込んだとき、何か困ったときに助け合える仲間を大切にしてください。

◇受講者の決意・豊富

・養護教諭になりたいという夢をしっかりと持ち、現役で合格します。講座に積極的に参加して自分を成長させるように頑張ります。・まずは一次試験突破。

・今日、合格者の話を聞いて自分も人一倍努力し、挑戦したい。・まずは基本の部分から学んでいきたい。

・現役合格できるように精いっぱい頑張りたい。

・現役合格！ ・計画的に学習を進めたい。

・来年度 3 年次チャレンジ受験を受けるため、必ず合格して教職教養を免除にする。

・必ず合格するという強い気持ちで試験対策に臨む。

・試験に受かるか不安なことが多々あるが、今やるべき勉強をしっかりとやりたい。・合格した自分をイメージする。

・3 年次試験に挑戦する。 ・必ず合格する！

・効果が出るまで長く辛い道のりですが、継続して講座に参加する。計画を立てて勉強する。

・加点になるものは調整し得点につなげる。

・絶対に合格するという強い気持ちを持つ。

努力して達成した合格の喜びが伝わってくる合格体験報告会でした。

報告 2024 年 11 月 6 日 (水)

2024年度教員採用試験合格者の勉強法

沖縄県の養護教諭は、合格者5名、志願倍率31.8という難関に挑み、見事合格した2人の卒業生に1次試験対策の勉強の方法やモチベーション維持についてご紹介いたします。また、倍率が下がったとはいえ、志願者が多く合格は中々厳しい状況の小学校で念願を叶えたNさんの勉強の仕方やメンタルを保つ方法について、抜粋してご紹介いたします。

1. 臨任を8年経験したKさん

本講座には大学生の頃から通い1次試験の勉強をしてきましたが、今回は久しぶりに講座に参加し、2次試験対策を通して大変お世話になりました。

☆私は一部免除だったので、専門教養のみの勉強でした。

- ・まずは、なによりも、過去問！ 過去5年分ほどを解いて、間違っ箇所の出典書物から正解を確認して線を引き、しっかり確認する。
- ・集中力が続かないため解くときは、模試以外は5問ずつ解いて、解答。
- ・頻出する内容は調べて書き込む。必要な資料は印刷する。専門ノートを作成し大学時代から書き込む。
- ・まるごと過去問題集を5周する。何月何日までに1周目を終わらせると週ごとの目標を決める。
- ・最後まで解いたら、覚えているうちに後ろから解いたりしていた。
- ・学校保健安全法・施行令・施行規則を録音して遠出をする際は車で流したりした。
- ・全国まるごと問題集から気づいた衛生基準の変更点などをマニュアルに書き込み忘れないようにした。
- ・力試しに模試を受験する。
- ・間違えやすい箇所、新しく学んだものは付箋紙に書いて貼って重要なものだけを見れるようにする。参考書等に、過去問で出題されていた箇所に下線を引き、横に出題年を書く。

次の資料は、Ipadに入れて出先でも確認したり、図書館に行く際の荷物を軽減していました。

- ・学校保健安全法・施行令・施行規則
- ・「児童生徒等の健康診断マニュアル」
日本学校保健会
- ・「学校において予防すべき感染症の解説」
日本学校保健会
- ・「学校環境衛生管理マニュアル」文部科学省
- ・小・中・高校学習指導要領解説
(保健体育編)の保健
- ・保健主事のための実務ハンドブック
(令和2年度改訂)
- ・生きる力を育む学校での歯・口の健康づくり
(令和元年度改訂)
- ・赤十字救急法講習

2. 3年間の離島勤務を体験したTさん 大学4年のときには、教職教養、専門教養講座ともに、皆出席の学生でした。

今年が5回目の受験でした。大学を卒業し、3年間、離島の方で臨任教員として勤務した後、今年の4月に本島へ帰ってきました。4月からは、小学校の養護教諭として午後勤務をしています。本講座には1次試験終了後から通い、2次試験対策を通して大変お世話になりました。

★1次試験について(一部免除)

- まずは過去問！5年分を何回も解きました。
- 過去問から頻出しているマニュアル等には出題された箇所に出題年を書きました。
- 2か月過去問を解いた後に、4月からは「全国まるごと過去問題集」に取り組みました。5,6周はやりました。間違っ箇所は付箋紙を貼って何回も解きました。(ノート何回も書いた)
- 4月からの勉強は全て、「勉強分析」というアプリに記録していましたエビングハウス忘却曲線に沿った復習管理アプリで、勉強した内容を記録しておくことでアプリが計画的に1日のやるべきことを決めてくれます。効率的に暗記ができました！
- 学校保健安全法・施行令・施行規則を1日の空き時間に1回は目を通しました。
- 「健康診断マニュアル」や「感染症の解説」等、保健関係のマニュアルは何回も読んで覚えめました。ページ数の多いマニュアルは大事な箇所読む程度でした。
- 教授前に学校に届いた保健関係のマニュアルも目を通しました。
- やる気出ないときは1日休憩するかネットフリックスではたらく細胞(解剖)を見ました。
- トイレやキッチンなどにも、覚えることを付箋紙に書いて貼っていました。

★モチベーション維持について

- ・合格以外考えない！ ・自分に合った場所でやる(ゆがふいんホテル) ・人から習う
- ・やったこと、勉強時間を毎日記録した ・1次試験は1人、2次試験は仲間と！
- ・予習をする ・周りの支え

3. 小学校に合格したNさんの体験講話より 本講座の開講当初からの受講者だったので合格を一緒に喜びました。

★1次対策

- とにかく学習指導要領。ひたすら指導要領。過去5年の過去問から、出題されている文言をチェックして、出題傾向を把握した。何度も何度も読み、付箋紙をはってどの教科をどのくらい読み込んだかが分かるように工夫した。
- 体育に関しては解説からほとんど出題されていたので、指導要領解説を別で購入し、読み込んだ。
- 国、算、理、社のうち、算数は暗記ではなく基礎から確実に理解しないと点数が取れないと感じていたので、算数に一番時間をかけて勉強した。分からなかったら、講師の先生や同じ講座の仲間に納得のいくまで聞く。算数に関しては、今回の講座からオンラインで個人的に聞くことができたので、できるときは何回も予約をいれて復習した。そのあとは、分かるまで一人で解く。そして、自分の解いたやり方を仲間に説明する。同じ問題を何回も解きまくる。これをひたすら繰り返した。算数の点数が取れてくると、自然と模試や過去問の点数も安定してきました。理科や社会も同じように、学習を進めていくと少しずつ分かってくるようになってきた。
- 生、音、図、家、体、外、道、は学習指導要領を中心に取り組む。日々の教材研究も試験勉強だと思って、授業づくりをおこなった。今までの学級担任の経験を思い出して、実際の子供たちの様子や教材研究を結びつけることでより内容が定着しやすくなった。
- その日のうちで復習、講座前にすこしだけ予習。講座後、講座前には図書館へ行ったり、教室に少し残ったり早めに行ったりして復習、予習の習慣をつけた。

★2次対策

- 子どもたちがわくわくするような授業。模擬授業だけど、ほんとに子どもたちに授業をするつもりで授業づくりをした。→指導事項、評価基準、評価項目、単元の流れ、言語活動の場面設定をしっかりかためる。模擬授業の内容だけ考えるのではなく、6時間すべて考えた。面接でどこを聞かれても、意図をもって答えることができた。
- 面接では、はじめは自分の考えを言葉にすることができなくて詰まることばかりですが、ノートに書きだしたり、面接練習を何度かやっていると自分がどのような教師になりたいのか、今までどのようなことを大切にしていたのかが少しずつ見えてきます。
- 動画をとって何回もふりかえる。自分の癖や無駄なところ、大事にしているところがはっきり分かる。はじめは恥ずかしいけど、一番効果的です。
- いろんな先生方に見せて、アドバイスをもらう。だけど、自分の軸はぶれないように。面接官もどのような先生にあたるか分からないので、いろんな先生に慣れることが大切。
- 間と一緒に取り組む。お互いを励ましあう。お互いで悩んでいるところなどたくさん話して、共有し共感あってアドバイスをしあう。二次対策は一次対策の時よりさらに仲間の存在がとても大切だなと実感した。

★メンタルを保つ方法として

- ・4月から初任研として、学級担任をするんだという気持ちを強くもつ。
- そのほか
- ・規則正しい生活、無理はしない
- ・自分のペースを大事にする
- ・仲間と一緒に取り組む
- ・とにかく自分をほめまくる

※受験勉強に使った参考書

- ・東京アカデミー 採用試験対策 参考書
小学校全科
- ・新ポケットランナー 小学校全科
- ・学習指導要領 解説 体育

2024年11月12日(火)

2024年度 校種間連携 英語教育研修会

2025（令和7）年2月7日、名桜大学学生会館にて「校種間連携 英語教育研修会」を開催いたしました。

講師に大城賢氏（学校法人アミークス国際学園小学校・中学校 校長）をお招きし、「今、求められる英語の授業」のテーマで講演をしていただきました。先生は、中学校・高等学校の英語教諭として15年間勤務した後、沖縄国際大学総合文化学部教授、琉球大学教育学部教授を歴任、退職後は放送大学沖縄学習センター客員教授を務め、長い間英語教育に携わっております。

今回の研修会では、「①個別最適な学び協働的な学び ②言語活動を通じた指導の仕方 ③中間指導の在り方」を柱として、お話がありました。サラ・マーサ、ゾルタン・ドルニエイの「学習者が、学び方について、きちんと理解していれば、実際に学習に積極的に取り組む可能性は高くなる。」という言葉を引用し、学び方を教えることの大切さをお話しされました。また、言語活動を通じた指導の在り方について、具体的に動画を視聴しながら考える機会を設けていただきました。

◎ 今回の研修会で得た成果や活用策についての受講者の声

- ・言語活動では場面、目的、状況、相手意識をしっかりと設定したい。
- ・パフォーマンステストのフィードバックに中間指導を取り入れて生徒に改善点を気づかせたい。
- ・模擬授業や卒論の内容
- ・中間指導の入れ方、
- ・言語活動の重要性を再確認したので、これから最後の単元に入りますが改めてゴールの課題を見直したいと思った。
- ・これからの授業づくりにおいて ICT 活用、集団活動などを行う本質をしっかりと考えたいと思った。
- ・活用策ではないが、生徒との対話を通して自分で考えさせる指導を意識しようと思う。
- ・目的、場面、状況を大事に、生徒の思考を働かせた言語活動をしていきたい
- ・自立した学習者を育成するためのヒントが少しわかった。単元計画を立てる時、指導にあたる時、子どもが自分だけで学ぶとしたらどのような声掛けや導きが適切かを考えることが大切かを学んだ。
- ・研修会を受けて、文脈やスキーマを使って理解を促したり、間違いや気づきに価値付けたりすることで自分で学ぶ学習者を育てていくことができるのかとヒントをもらった。高校でも背景知識も高度になっていくので英語を通して様々なトピックを学んだり、他教科で学んだことが英語の理解を助けたりするというところへの気づきをつくる機会がもっと必要だし、経験できる環境づくりが必要だと思った。

◎ 今回の研修会で学んだこと、印象に残ったこと

- ・個別最適な学びと協働的な学びを上手く組み合わせながら授業を作ることが大切。その一方で個別最適な学びができる授業を作る環境を整えることは難しいと感じた。
- ・日々の授業や校務、部活動指導で精一杯で自分の勉強不足に気づいた。
- ・個別最適学習がよく言われています。今回の大城先生もおっしゃっていましたが、枠の中での個別最適学習を進めていかないといけないという方向に進むのはすごく危険だなと感じました。ICT さえあれば個別最適学習が進むのか、学校の環境は、個別最適学習に最適か、どんどん言葉だけが学校に入ってきて、よく理解しないまま進むのがこわいです。
- ・教育の在り方等多くのことを学ぶことができた。これから、教員を目指す上でとても刺激的な会でした。
- ・自律した学習者を育てることへ少し意識を向けようと思います。
- ・英語教育の課題についてもっと話を聞きたかった。
- ・英語教育をよりよくしていくには考えるべきことが多くあると改めて感じた。
- ・ICT を活用してどう効果的日個別最適化な学びに繋げることができるかもう一度考えたいと思います。
- ・高校入試の壁と、目指したい授業のギャップにいつも悩まされます…。でも教科書に囚われ過ぎず、言語活動中心の授業が出来るように頑張りたいです。
- ・どれもすごく印象的でした。私が働いている現場では、受容的な子の主体性をどのように育成させていこうかが課題だと感じました。

- ・学校現場で子どもたちが幸せだと感じるためには、まだまだ学びが必要だと思ったので、今日、教えてもらったことを意識しながら日頃の授業作りを生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・最後の振り返りシートの大切さ、友達同士で学姿を大切にしたいと改めて思った。個別最適、協働的な学びは何かを引き続き考えて授業を考えていきたい。
- ・小中連携の大切さを再認識した時間だった。賢先生の、小中が同じ指導観に立てるか？とおっしゃったその言葉が胸に響いた。グループ協議でも、お互いの授業を参観し、授業改善にあたるのが、子どもの英語に対する興味関心を高めるヒントになりそうだった。とても良い研修だった。企画して頂き心から感謝します。
- ・個別最適や共同的な学びの足場となる主体性を後押しできる仕掛けをつくるスキルを身につけたいと思った。目的場面状況を意識してテストや指導をしても、本当に生徒にそれを落とし込めているか、「リアル」なのか、形だけになっていないかと悩んでいます。生徒もパフォーマンス課題に飽きている様子が伺える。リアルな体験ができる環境を作って、面白い、学びたいと動機づけできるようにしたいと思いました。小学生のイキイキした授業様子、高校の授業で高校生が楽しい！と思える授業をやってみたいと思いました！
- ・とても素晴らしい研修でした。ありがとうございました。
- ・子供たちから答えを引き出す、目的場面状況設定の大切さ、がとても印象的でした。

◎今後の研修への要望

- ・職場の同僚10人に情報提供したが、学年末テストの最終日の午後ということもあり、参加が厳しかった。
- ・同じテーマで別の講師の話も聞きたい。
- ・英語の授業における探求型授業について勉強したいです。
- ・自立した学習者を育てるための研修を希望します。
- ・貴重な講義をありがとうございました！大城賢先生の研修を受けると大事なことを気付かされます。忘れないように毎年先生の講義に参加できると嬉しいです。
- ・時間をもう少し長くして、参加者の話し合いを全体にフィードバックして、講師からのコメントもあると更に学びが進みます。とても参考になるので学期に一回の頻度で研修会をしてほしいです。



写真 グループワークの様子と大城賢先生の講話

教員養成支援センターは、北部の教育課題について検討し、国頭教育事務所の英語の指導主事の推薦で講師を招聘し、その協力のもと研修会を開催しました。

受講者の声からもわかるように充実した研修会でした。また、講師の大城先生から、「受講者の皆様がとても積極的に発言をされてくれたのでとてもありがたかったです。地域と連携した名桜大学の取組もすばらしいと思いました。」との感想もいただきました。今回の研修での学びを自身の授業改善にぜひ活かしていただきたいと願っています。

参加者：36人（小学校6人、中学校15人、高校4人、名桜生4人、他7人）

（報告 2025年2月17日 教員養成支援センター副センター長 久高利美子）

2024年度 校種間連携「算数・数学教育研修会」報告書

2025年2月10日(月)に、学生会館 SAKURAUM3 階大講義室 A で「算数・数学教育研修会」を開催しました。

本研修会は、校種を超えて教員が集い、地域の課題についての改善に励み、教員自らが授業づくりに活かすことを目指した意見交換ができる機会を設けることをねらいとしました。

そこで今回は「算数・数学を学ぶ意義とは」と題して、算数・数学教育の目的を教員自身がしっかり考えることが、授業づくりの根幹であるという教育の原点に立ち返った視点で企画をいたしました。大城覚氏（元大宮中学校校長 現名桜大学教員養成講座講師）が司会進行を務め、前半は高安美智子（名桜大学リベラルアーツ機構特任教授）による講話「小・中・高・大学における算数・数学を学ぶ意義とは ～高校・大学の授業実践を通して～」を行いました。後半では、千葉康成氏（沖縄県立名護高等学校附属桜中学校教頭、前国頭教育事務所算数・数学担当指導主事）をコーディネーターとして、「算数・数学を学ぶ意義や楽しさをどのように伝えるか！ ～算数・数学の楽しい授業づくりのために～」と題して、活発な意見交換会が行われました。事前にいただいた、「生徒が興味を持って学習に取り組むことができない。課題に対して魅力を伝えきれない。免許外で数学の授業を受け持っているため、数学科の先生方から授業の仕方など色々聞けたらと思います。」などのコメントを参考にして、協議を進める予定でしたが、時間はあっという間に過ぎてしまいました。担当者としては、十分な意見交換ができ、所期の目的を達成できたか気になりました。今後とも本研修会の充実に努めてまいります。

★ 研修会後の参加者のアンケートより一部抜粋してご紹介いたします。

1. 「楽しい授業とは」どのような授業ですか？

- 解る授業。楽しい授業。子供たちが生活との結びつきを実感する授業
- 子供がワクワクする導入、子供の考えを価値づける授業
- 夢中になる、どんどん解きたくなる、考えたくなる、人の考えを聞きたくなる授業
- 生徒が興味関心を持ち、課題に対して解決する方法を思考する授業
- 子ども達が自己選択・決定しながら、解決する喜びを感じる授業。時数にとらわれず楽しみたい！
- 自分の考えが広がる、深まる授業。解けた、わかったを感じることができる授業。達成感がある授業
- 難解な問題に悩みながら挑戦する授業（あくまで私の感想です）
- 学ぶことに、心理的なハードルが高くない授業？かと、最近は思っています

2. 今回の講話「小・中・高・大学における算数・数学を学ぶ意義とは ～高校・大学の授業実践を通して～」の感想

- 効果測定の結果がとても印象的だった。それを小学生で考えてみると何ができるのか、今後自分自身で考えてみたい。
- 算数・数学をなぜ学ぶのか改めて考える良い機会になりました。
学生にどのように動機づけを行って結果につなげたのか詳しく聞きたいです。
数学を学ぶ大切さを強く感じました。
- いろいろな意見を素直に話すことができよかった。
- 中高生の皆さんに数学の良さ、必要性を啓蒙してほしいです。
- 数学を通して人間形成に役立つこと自覚できるようにするといいなと思う。
- 数学を通じた人間形成を考える。そういうことを意識せず考えることもなく
算数・数学に関わってきた、計算重視で来たので驚きの研修会だった。
- 高校現場、文部科学省の方針、名桜大学での実情など、多くの視点でお話いただき、大変参考になりました。
- なぜ算数・数学を学ぶのか…授業者としてそのことも子ども達に伝えながら学ぶ姿を目指したいと感じました。良さを実感させ、課題と向き合う時間を確保する機会を作り出し、自学自習で取り組んでいく仕組みを、小学校でも作っていきたいです。美智子先生のほとばしるパッション、受け止めました。
- 今回の講話を聞き、興味を持たせることの重要性を特に感じました。高安先生の講話が分かりやすく、考える部分も多かったです。今日受けた講話のように生徒が「分かる」だけではなく「楽しく」「考える」を生徒の実態に応じた授業作りをしていきたいと思いました。本日はありがとうございました。



○それぞれの校種での学びのつながりがあり、小学校での低学力の子の数学的な考え方をつけるのはまさにだと思った
 ○最近では数学が「わかった」「できた」となるにはどうしたいかと授業づくりをしていたが、そこに「数学が楽しい」と思える授業なのかを私自身があまり考えていないと気付かされた。苦手でも数学を嫌いにさせないためにも、色々な生徒の立場になって授業づくりをしていきたいと思いました。また大学で数学を学び直す学生がいると知り、中学校の教員として算数から数学への広がりを楽しみと感じさせることや丁寧な指導がもっと必要だと感じた。私自身が数学が楽しいと感じるためにも、今日講話に出ていた本を読んだり、数学者の考えに触れていきたいと思います。今日は素晴らしい講話をありがとうございました。

○数学を学ぶことで、情緒の安定や豊かな教養を育む事ができることを再確認した。

3. 今回の研修会で学んだこと、印象に残ったこと、感想等

○数学の基礎知識がなくても先生の話は分かりやすくなりました。生活の中で数学がいかに大事か、数学教育が大事わかりました。幼児、小学生から算数を身近に感じる教育を痛感させられました。孫に算数・数学を生活の中で楽しく意識して取り入れるように接していきたい。

○気づかずに生活の中で算数・数学の考えがあったこと。

○数学が苦手であっても嫌にならないで。

○講話や資料がとても参考になりました。

○算数、数学の授業の根本を考え実践していきたいと感じた。

○好き好きサイクル、学校現場全てに通ずるものがあると思います。

○講話を受け、その後の意見交換が素晴らしかった。

○もっと時間があればいいなと思った。

○「Do the math!」という言葉が印象に残ったので、その言葉を子ども達に伝えたいなと思いました。

○数学ができるようになるということは「学ぶ力」がついているということに共感できました。

○数学が苦手な生徒も伸びる力を秘めていて、それをどう引き出せるかが教師の役目だと思いました。

○数学教育の4つの目的を達成するためにも、数学で好き好きサイクルをつかって授業をしていきたいです。

○完璧な授業など存在しないという意識をもって、授業力アップに心がけていきたい。



4. 今後の研修への要望について

○このような研修会を年二回ほどやってください。高安先生、千葉先生とも内容は素晴らしかったので時間が短かった。

○年三回ほどあるといいなと思いました。また、もっと学生の参加も増え教師、社会人、学生で意見交換ができればいいなと思いました。

○意見交換でいろいろな考えが聞けて良かった。

○高校生、大学生をイメージしながらお話を伺う機会はとても貴重です。またこのような機会を願っています。

○継続的に数学の研修会をやってほしいです。

○研修会や勉強会の情報を発信してほしい。



昨今は教職員の多忙化の課題もあり、研修会の日程や時間設定が難しい状況ですが、これまで主に小・中学校に合わせて日程調整を進めてきました。やはりそれぞれで都合が異なり、今回も、厳しい日程をやりくりし、ご参加くださった先生方もおりました。今回の感想に、「意義について、大まかにいくつかの点に分れるかと思うので、それぞれの点についてもう少し深掘りできるような話し合いが個人的にははたかったです。」がありました。参加者からはいつも肯定的な回答をいただきますので、今後はそのような要望にも応えられるような研修会を目指していきたいです。貴重なご意見をお寄せくださいました皆様に、心よりお礼を申し上げます。参加者：15人（小学校3人、中学校5人、高校1人、名桜大学2人、他4人）

2025(令和7)年度実施教員候補者選考試験沖縄県の日程

願書受付 2025(令和7)年3月3日(月)～31日(月) 電子申請入力 3月1日(土)～3月31日(月)

○第1次選考試験日 2025(令和7)年6月15日(日) 第1次合格発表 7月下旬

○第2次選考試験日 2025(令和7)年8月9日(土)・10日(日) 第2次合格発表 9月中旬

2025年度実施 教員採用試験

1次試験対策講座Ⅱの受講生募集

対 象：名桜大学生及び北部地域に籍を有する方を優先し、北部地域で臨時的任用者も対象とする。

実施期間：**2025年3月3日(月)～6月12日(木)**

実施場所：学生会館(サクラウム)3階大講義室 他

実施科目：一般・教職教養 週2回(火曜日・木曜日)
専門教養(中高保健体育、中高英語、養護教諭、
中高国語)各週1回、小学校週2回

実施時間：19時～20時55分

申込期間：2月17日～2月26日

(定員に達するまで随時受け付けます)

申込方法：次のQRコードから申し込んでください

受講料：一般・教職教養 10,000円

専門教養 10,000円

学生 1,000円(大学補助有)

主 催：名桜大学 教員養成支援センター

お問合せ：電話 0980-51-1251(新城)



教員採用試験対策一緒に頑張りませんか？

多様化する現代の社会において、大学生が専門学校にも通うというダブルスクールや、社会人が学び直しのためにリカレント教育を受けるなど、人々の学び方は多様化しています。学生に取っても、臨時的任用教員にとっても、日々の学業や仕事の傍ら、教員養成講座を受講することはそう容易いことではないと思います。

しかし、共に学ぶ仲間がいて、明確な目標があれば、採用試験の勉強も乗り越えられます。

一緒に、採用試験対策頑張りませんか？

2023年度から2024年度の講座受講者

	受講者数	1次合格	1次合格率	2次合格	2次合格率
学生	31	13	41.9	9	29.0
一般	44	27	61.4	25	56.8

現役合格者9名は全員本講座の受講生でした。一般の受講者の中には、1次合格後に講座に参加した人も含まれているため、合格率が高くなっています。1次合格者の最終合格率は高いと思います。

<編集後記> 今たよりは、これまで発行した2024年度の教員養成講座の報告書をまとめたものです。

本教員養成講座は、地域の要望に応え、地域連携課の理解・協力を得て、2017年5月1日(月)に、北部生涯学習推進センターにおいて、「北部教員養成講座」としてスタートしました。2018年度から2020年度は、内閣府の補助事業として、事業主体の北部広域12市町村圏事務組合より名桜大学が委託を受け、「北部教育研修センター」が開設され多くの教科研修を開催しました。2021年3月末をもって、補助事業としての活動は終了となりました。

その後、地域の強い要望もあり、名桜大学地域連携機構において、地域貢献事業として引き続き教員養成講座を開講することになりました。さらに2024年度より、北部教育研修センターと教員養成支援センターを発展的に統合し、教員養成支援センター業務の一環として、北部地域の支援もいただきながら、継続して教員養成講座に取り組んでいるところです。この間、北部地区の合格者が100名を突破し、今年はさらに26名が合格し、総計126名に達しました。

国頭地区管内にはまだまだ臨時的任用教員が多く、生活基盤に不安を抱える教員も少ない状況があります。現在は全国的に教員の確保が厳しい状況が知られてきましたが、北部地域においては未だ代替教員の確保が深刻な課題となっています。本講座はこのような地域の教育環境の課題改善等と教職を目指して入学する学生の希望進路実現も含めて、まだまだニーズの高い不可欠な講座だと考えています。

終わりに、地域の退職教員のご理解とご協力により、学生も一般受講者も大いに励まされています。教員の仕事が崇高であるように、次の世代の教員を育てる退職教員のご協力も崇高であり、講師の皆様にも心より感謝を申し上げます。

2025年2月25日(火) 教員養成支援センター長 高安美智子